

令和 4 年度

東北町教育委員会の
事務の点検及び
評価に関する報告書

〔令和 3 年度の実績〕

東北町教育委員会

教育委員会の事務の点検及び評価の実施について

東北町教育委員会は、「未来を切り拓く人を育む教育・文化のまち」の形成に向け、「多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指し、「夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育」「学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育」「次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用」「活力、健康、感動を生み出すスポーツ」を教育施策の方針として、青森県教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進しています。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

東北町教育委員会では、今後の教育行政の効果的な推進と町民への説明責任を果たすことを目的に、町内の学識経験者や教育現場経験者等の意見を拝聴しながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆さまには、この報告書をご覧になり東北町の教育と取り組みについてご理解いただければ幸いです。

令和 4 年 8 月 24 日

東北町教育委員会

目 次

◇ 令和３年度東北町教育施策の方針	1
◇ 施策分野	2
◇ 施策別主要事業一覧表	3

学 校 教 育

事 項（事 業 名）	頁
I 学校教育の方針と重点	4
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	5
〔ア〕 学力向上アクションプラン推進事業	6
〔イ〕 学校評議員配置事業	6
〔ウ〕 通学时安全安心確保対策事業	7
〔エ〕 保・小・中連携教育推進会議への助成事業	7
〔オ〕 学校教育支援員配置事業	8
〔カ〕 特色ある学校づくり推進事業	8
〔キ〕 教材備品整備事業	8
〔ク〕 学校図書等整備事業	9
〔ケ〕 奨学資金貸付事業	9
〔コ〕 学校教育振興会への助成事業	10
〔サ〕 生徒指導連絡協議会への助成事業	10
〔シ〕 各種学力検査等	11
〔ス〕 国際理解教育振興事業	11
〔セ〕 外国語指導助手招致事業	12
〔ソ〕 教育委員会表彰事業	12
〔タ〕 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	13
〔チ〕 特別支援教育就学奨励事業	13
〔ツ〕 中学校体育大会等選手派遣費補助事業	14
〔テ〕 児童・生徒・教職員学校検診委託事業	14
〔ト〕 学校保健会への助成事業	15
〔ナ〕 スクールバス・東北地区町民バス運行業務委託及び車輛更新事業	15
〔ニ〕 校舎等修繕事業	16
〔ヌ〕 校舎等維持管理業務委託事業	16
〔ネ〕 一般備品購入事業	16
〔ノ〕 教育相談員配置事業	17
〔ハ〕 台湾台北市立中学校交流推進事業	17
〔ヒ〕 学校給食費給付金交付事業	18
〔フ〕 学校保健特別対策事業（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）	18
〔ヘ〕 大学生等生活支援給付金事業	18
〔ホ〕 学校図書館支援員配置事業	19
〔マ〕 通級指導教室指導教員配置事業	19

社 会 教 育

事 項（事 業 名）	頁
Ⅱ 社会教育の方針と重点	22
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	23
〔ア〕 家庭教育学級	24
〔イ〕 東北町民大学	24
〔ウ〕 高齢者「いきいき教室」	25
〔エ〕 花いっぱい運動	25
〔オ〕 放課後子ども教室の開設	26
〔カ〕 青少年育成町民会議活動支援・協力	26
〔キ〕 子ども会育成連絡協議会活動支援	27
〔ク〕 青年協議会活動支援	27
〔ケ〕 連合PTA活動支援	28
〔コ〕 連合婦人会活動支援	28
〔サ〕 集会施設等改修・整備事業	29
〔シ〕 集会施設等維持管理点検・修繕事業	29
〔ス〕 放課後児童クラブの開設	30
Ⅲ 芸術・文化の方針と重点	32
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	33
〔ア〕 生き生き産業文化まつり	34
〔イ〕 文化賞表彰	34
〔ウ〕 文化協会活動支援・協力	35
〔エ〕 東北町文化展	35
Ⅳ 資料館等の施設活動方針と重点	36
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	37
〔ア〕 常設展・特別展	38
〔イ〕 郷土芸能保存会活動支援	38
〔ウ〕 遺跡発掘調査事業	39
Ⅴ 公民館等の施設活動方針と重点	40
施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	41
〔ア〕 各種趣味講座の開設	42
〔イ〕 移動（利用）公民館講座の開設	42
〔ウ〕 成人式	43
〔エ〕 実年式	43
〔オ〕 集会施設等の改修事業・補助金	44
〔カ〕 公民館等維持管理点検・修繕事業	44

事	項（事業名）	頁
Ⅵ	図書館の活動方針と重点	46
	施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	47
	〔ア〕 図書館利用の促進活動	48
	〔イ〕 情報ネットワークサービスの実施	48
	〔ウ〕 子どもの読書活動推進	49
	〔エ〕 学校図書館への支援活動	49

社 会 体 育

事	項（事業名）	頁
Ⅶ	社会体育の方針と重点	50
	施策別主要事業一覧表（重点項目・事業名）	51
	〔ア〕 スポーツ振興事業の実施	52
	〔イ〕 各種大会派遣事業	57
	〔ウ〕 研修会等への派遣事業	60
	〔エ〕 体育施設有効利用と促進事業	60
	〔オ〕 各種体育団体への助成事業	61

令和３年度 東北町教育施策の方針

東北町教育委員会は「未来を切り拓く人を育む教育・文化のまち」の形成に向け「多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を目指します。

このため

- ◇ 夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
- ◇ 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
- ◇ 次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- ◇ 活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、青森県教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

令和３年１月２７日決定

施 策 分 野

I 学校教育の方針と重点

II 社会教育の方針と重点

III 芸術・文化の方針と重点

IV 資料館等の施設活動方針と重点

V 公民館等の施設活動方針と重点

VI 図書館の活動方針と重点

VII 社会体育の方針と重点

別記（第2及び第3関係）

施策別主要事業一覧表

施策分野	重点項目	評価担当課
I 学校教育の方針と重点	(1) 授業の充実 (2) 道德教育の充実 (3) 特別活動の充実 (4) 体育・健康教育の充実 (5) 生徒指導の充実 (6) キャリア教育の推進 (7) 特別支援教育の充実 (8) 環境教育の推進 (9) 国際化に対応する教育の推進 (10) 情報化に対応する教育の推進 (11) 研修の充実 (12) 総合的な学習の時間の充実 (13) 危機管理体制の充実 (14) 保・小・中連携教育の推進 (15) 基本的生活習慣の形成	学 務 課
II 社会教育の方針と重点	(1) 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育の推進 (2) 学校・家庭・地域の連携による学習活動の推進 (3) 地域を支える人材の育成 (4) 社会教育推進のための基盤整備	社会教育課
III 芸術・文化の方針と重点	(1) 芸術・文化活動の推進	
IV 資料館等の施設活動方針と重点	(1) 歴史民俗資料館活動の充実	
V 公民館等の施設活動方針と重点	(1) 公民館運営体制の充実 (2) 生涯学習活動支援の充実 (3) グループ、サークル等の育成	
VI 図書館の活動方針と重点	(1) 図書館の運営とサービスの充実 (2) 子ども読書活動の推進 (3) 学習情報の提供と学校図書館への支援 (4) 読書団体組織への支援による活動の充実	スポーツ振興課
VII 社会体育の方針と重点	(1) 地域に根ざしたスポーツの振興 (2) スポーツ環境の整備充実 (3) 職員の能力向上とスポーツ推進委員の活用	

I 学校教育の方針と重点

【基本方針】

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進と、安全で快適な教育環境の充実に努める。

学 務 課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 学 校 教 育 の 方 針 と 重 点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 授業の充実 (2) 道徳教育の充実 (3) 特別活動の充実 (4) 体育・健康教育の充実 (5) 生徒指導の充実 (6) キャリア教育の推進 (7) 特別支援教育の充実 (8) 環境教育の推進 (9) 国際化に対応する教育の推進 (10) 情報化に対応する教育の推進 (11) 研修の充実 (12) 総合的な学習の時間の充実 (13) 危機管理体制の充実 (14) 保・小・中連携教育の推進 (15) 基本的生活習慣の形成	ア 学力向上アクションプラン推進事業	学務課
	イ 学校評議員配置事業	
	ウ 通学時安全安心確保対策事業	
	エ 保・小・中連携教育推進会議への助成事業	
	オ 学校教育支援員配置事業	
	カ 特色ある学校づくり推進事業	
	キ 教材備品整備事業	
	ク 学校図書等整備事業	
	ケ 奨学資金貸付事業	
	コ 学校教育振興会への助成事業	
	サ 生徒指導連絡協議会への助成事業	
	シ 各種学力検査等	
	ス 国際理解教育振興事業	
	セ 外国語指導助手招致事業	
	ソ 教育委員会表彰事業	
	タ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	
	チ 特別支援教育就学奨励事業	
	ツ 中学校体育大会等選手派遣費補助事業	
	テ 児童・生徒・教職員学校検診委託事業	
	ト 学校保健会への助成事業	
	ナ スカ-バス・東北地区町民バス運行業務委託及び車輛更新事業	
	ニ 校舎等修繕事業	
	ヌ 校舎等維持管理業務委託事業	
	ネ 一般備品購入事業	
	ノ 教育相談員配置事業	
	ハ 台湾台北市立中学校交流事業	
	ヒ 学校給食費給付金交付事業	
	フ 学校保健特別対策事業（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）	
	ヘ 大学生等生活支援給付金事業	
	ホ 学校図書館支援員配置事業	
	マ 通級指導教室指導教員配置事業	

〔ア〕 学力向上アクションプラン推進事業					
事業概要	◆ 学力低下の危機感と教育改革の動向を踏まえ、学校教育の将来への方向性と児童生徒の学力向上を目指し、本プランを策定した。 ◆ 平成１９年度に計画策定。平成２０年度から平成２４年度までの５か年（第一次計画） ◆ 平成２４年度に計画策定。平成２５年度から平成２９年度までの５か年（第二次計画） ◆ 平成２９年度に計画策定。平成３０年度から令和４年度までの５か年（第三次計画） ◆ 事業費 〇千円（一般財源〇千円）				
実績	◆ 教育委員会では、学力向上策の更なる推進のため、学力の的確な把握を継続して実施。調査結果の有効活用のため、各校から取組と実績報告の提出を求めた。また、人的支援、財政的支援などについても、その体制の整備を図った。 ◆ 各校とも、学力向上アクションプラン基本構想に基づき、取組事項を定め、その実現に向け鋭意努力した。 ◆ 各小中学校の取組に関する情報交換等を行い、指導方法の改善や校内研修の活性化を目的に、「学力向上アクションプラン実践報告会」を開催した。 ・日時 令和３年７月１４日 ・会場 上北小学校（対象：町内小中学校教員）				
評価	各校の実績報告書の結果から課題等を踏まえ、次年度以降のさらなる学力向上推進に取り組む。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 学校評議員配置事業					
事業概要	◆ 地域住民や保護者が学校運営へ参画する仕組みを制度的に位置づけるものとして、全小・中学校に学校評議員を配置する。 ◆ 事業費 １９２千円（一般財源１９２千円）				
実績	◆ 上北小学校と東北小学校は４名、甲地小学校と中学校２校は３名、合計１７名の学校評議員を配置している。				
評価	校長は幅広く学校運営についての意見を学校評議員に求め、その意見を取り入れた学校運営が行われることで、地域社会に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域住民との意思疎通や協力関係を築くことに寄与している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 通学時安全安心確保対策事業					
事業概要	◆ 児童生徒の通学時の安全を確保するため、安全パトロール隊による登下校時の通学路巡回を奨励するとともに、防犯ブザーを携帯させることにより、安全・安心な地域づくりを図る。				
	◆ 事業費 95千円（一般財源95千円） ※前年度は㈱青森テレビより寄贈				
実績	◆ 小学校新1年生を対象に防犯ブザーを各校に122個配布しその活用を図った。				
評価	安全パトロール隊の通学路巡回や防犯ブザーの携帯により、登下校時の事故や地域犯罪の未然防止、抑止効果につながっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 保・小・中連携教育推進会議への助成事業					
事業概要	◆ 幼児教育から小学校教育、そして中学校教育への円滑な接続を図るため、講演会、研修会、情報交換会、専門部会などを開催して、保育園・小学校・中学校の連携教育の推進及び充実を図ることに対して助成。				
	◆ 事業費 790千円（一般財源790千円）				
実績	◆ 重点項目として、次の事業を実施 （１）アンケート調査結果に基づく取組 （２）保・小・中、相互間の情報提供（連絡票、入学説明会、諸行事案内、保育園・学校だより） （３）保・小・中教職員の合同研修、情報交換会等の開催 （４）園児・児童・生徒・地域の交流活動 （５）保育・授業の相互参観の開催 （６）保護者の連携・交流事業（講演会、家庭教育学級等）				
評価	各中学校区において重点項目事業は概ね実施され、保・小、小・中、保・中、相互の交流と情報交換により小中学校へのスムーズな移行が可能となっている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔オ〕 学校教育支援員配置事業					
事業概要	◆ 児童生徒の学力向上を図るための助言及び支援と、特別な支援を必要とする児童生徒の教育体制の充実を図るため、各校に学校教育支援員を配置する。 ◆ 事業費 39,052 千円 （繰入金 22,000 千円、一般財源 17,052 千円）				
実績	◆ 小学校 21 名、中学校 6 名の延べ 27 名（上北小 9 名、甲地小延べ 3 名、東北小 9 名、上北中 3 名、東北中 3 名）の教育支援員を配置した。				
評価	教職員と連携協力し、児童生徒の学力向上に努めた。また、児童生徒の不安・悩みの解消を図り教育現場から高い評価を受けている。平成 27 年度から事業費については、防衛省より調整交付金の助成を受けて事業を実施している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔力〕 特色ある学校づくり推進事業					
事業概要	◆ 学校教育の充実を図るため、児童生徒や地域の実態等を十分踏まえ、個性や創意工夫を生かした特色ある教育活動を実施する。 ◆ 事業費 2,810 千円（一般財源 2,810 千円）				
実績	◆ 小学校 3 校 1,411 千円 宿泊学習、学力向上対策、学習補助教材等 ◆ 中学校 2 校 1,399 千円 学力向上対策、部活動推進、生徒会活動推進等				
評価	子どもや地域の特性を踏まえ、各校の独自性、創造性が発揮された。 自ら学び、考える力の育成、個性を生かす教育が図られた。 学習補助教材費、宿泊学習等の保護者負担の軽減が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔キ〕 教材備品整備事業					
事業概要	◆ 教材備品 小・中学校 5 校の教材備品（新規・更新）の購入 ◆ 事業費 6,980 千円（一般財源 6,980 千円）				
実績	◆ 教材備品 小学校 871 千円 中学校 6,109 千円				
評価	主に中学校の教科書改訂に係る教師用教科書・指導書等を購入した。おおむね学校の要望どおり実施できた。今後も教育環境の整備を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ク〕 学校図書等整備事業					
事業概要	◆ 義務教育現場における読書環境の充実を図る。				
	◆ 事業費 700千円（一般財源700千円）				
実績	◆ 図書 小学校3校計171冊（300千円）、中学校2校計197冊（400千円） 小・中学校合計368冊（700千円）				
評価	学校図書の整備により読書環境の充実が図られた。標準算定冊数からみた蔵書の達成率を小中学校共に100%以上を継続している。学力向上は「読書力」と相関関係があることから、今後ともその充実を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ケ〕 奨学資金貸付事業					
事業概要	◆ 大学への進学を希望し、経済的事由により進学及び在学が困難な者に対して必要な資金を貸付し、学習意欲の向上と人材育成を図る。				
	入学一時金 300,000 円以内・月額 50,000 円以内				
実績	◆ 令和4年度奨学資金貸付審査委員会 令和4年3月2日 審査委員：東北町教育委員 貸付者数 14名 猶予者数 0名 償還者数59名 ◆ 貸付金 930 千円、返還金 16,018 千円 寄付金 350,000 円（2名） ◆ 運用額 138,499 千円 滞納者数 11名 滞納額 6,338 千円				
評価	近年、申請者が大幅に減少している。もっと多くの人に本事業を活用してもらうためには対象者及び貸付額の見直しなどの貸付条件を検討していくと共に広報活動の工夫が必要である。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

〔コ〕 学校教育振興会への助成事業				
事業概要	◆ 学校教育振興を図ることを目的とし、児童生徒の文化及び体育の振興に関する事業を実施。また、教職員の資質向上のため、県内外への研修参加に対して助成。 ◆ 事業費 1,542千円（一般財源1,542千円）			
実績	◆ 令和3年度総会：令和3年4月22日 15名参加 （新型コロナウイルス感染症対策のため規模縮小） ◆ 学芸委員会 832千円 作品集「たらっぽ」発刊：令和4年1月 ◆ 体育委員会 93千円 体力向上サポート費 30千円×小学校3校 ◆ 研修委員会 341千円 ふるさと研修：令和3年7月30日 町内 30名参加 研修費助成：町内各校研修費として配分 教科等研修費：町内各校に配分 ◆ 事務局費276千円 「東北町の教育」発刊：令和3年4月1日			
評価	目的達成のため各委員会において、各種事業が実施された。 今後も継続的に本助成事業が行われることにより、より良い学校教育振興が図られる。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

〔サ〕 生徒指導連絡協議会への助成事業				
事業概要	◆ 健全育成と非行の未然防止をめざし、小・中学校と関係機関、相互の情報提供及び連携を図る事業に対して助成。 ◆ 事業費 70千円（一般財源70千円）			
実績	◆ 連絡協議会 年2回実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ◆ 生徒指導連絡協議会研修会（講演会令和3年9月30日実施）			
評価	連絡協議会を開催し、小・中学校と関係機関とが緊密な連絡を取り合うことで、児童生徒の健全育成と非行の未然防止に努めた。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

〔シ〕 各種学力検査等					
事業概要	◆ 児童生徒の学力の実態を客観的に把握し、各教科の学習指導及び進路指導に活用するためそれぞれの検査を実施する。 1. 標準学力検査 2. 新学年別知能検査 ◆ 事業費 1,049 千円（一般財源 1,049 千円）				
実績	◆ 小学校 標準学力検査 528 千円、新学年別知能検査 170 千円 就学時知能検査 15 千円 ◆ 中学校 標準学力検査 216 千円、新学年別知能検査 120 千円				
評価	各種検査結果をもとに、各学校において検査結果を活用し、学習指導、進路指導、各種教材活用・購入の参考となっている。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ス〕 国際理解教育振興事業					
事業概要	◆ 外国人学校等の訪問交流・県国際交流員派遣を実施し、外国生活・文化習慣を実際に体験する機会を与え、国際理解教育の充実や国際社会に対応できるコミュニケーション能力を身に付ける。 ◆ 事業費 120 千円（一般財源 120 千円）				
実績	◆ 異文化交流事業 町内小中学校 30 千円×4 校 ※上北中学校は、予定していた台湾交流事業が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため未実施。				
評価	小・中学校で異文化交流事業を実施。国際交流員や他国の生徒との交流を通し、生の異文化に触れられる貴重な機会となっている。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔セ〕 外国語指導助手招致事業					
事業概要	◆ 全小学校を対象に、外国語指導や教材作成の補助、及び特別活動への協力などのため派遣する。また、地域における国際交流活動への協力。 ◆ 事業費 5,915 千円（一般財源 5,915 千円）				
実績	◆ 外国語指導助手 2 名 ※1 名は 11 月来日 ◆ 小学校 3 校へ派遣				
評価	町内全小学校の授業及び外国語活動の時間に派遣しており、授業等を通して、外国語に触れる機会の拡大や充実、コミュニケーションへの関心・意欲の向上が図られた。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ソ〕 教育委員会表彰事業					
事業概要	◆ 東北町に住所を有する児童生徒及び東北町内の小学校及び中学校に在籍する教職員並びに教育に関係する町民で、文化・スポーツ活動の振興に寄与したもの、優秀な成績を収めたもの及び善行の著しいものを表彰する。 ◆ 事業費 1 1 7 千円（一般財源 1 1 7 千円）				
実績	◆ 教育委員会表彰授与式：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「授与式」は中止 ◆ 教育委員会表彰審査会：令和 4 年 1 月 2 6 日 審査：東北町教育委員会 【奨励賞】 小学校 4 8 名、中学校 4 1 名				
評価	事業概要に沿って審査し、表彰を行った。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔タ〕 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業					
事業概要	◆ 経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、学用品費等の一部を援助する。 ◆ 事業費 3,888 千円（国・県費 22 千円 一般財源 3,866 円）				
実績	◆ 要保護認定者数 4 名 修学旅行費 45 千円 ◆ 準要保護認定者数 117 名 学用品費等 1,787 千円、新入学用品費 1,368 千円、修学旅行費 525 千円、給食費 163 千円 ※新型コロナウイルス感染拡大により、2 中学校では修学旅行を中止としたため、就学援助支給がなかった。				
評価	就学援助が必要な児童生徒に対して、随時審査・認定し、適正な扶助費交付に努めた。 平成 30 年度から、学校給食費給付金交付事業の開始により実質的に保護者の給食費負担はなくなった。ただし、他市町村から就学（区域外就学）している児童生徒については有償であるが、準要保護児童生徒として認定した場合は本事業で支援している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔チ〕 特別支援教育就学奨励事業					
事業概要	◆ 特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、学用品費等の一部を支給する。 ◆ 事業費 280 千円（国・県費 123 千円、一般財源 157 千円）				
実績	◆ 認定者数 30 名、学用品費等 193 千円、新入学用品費 51 千円、修学旅行費 36 千円				
評価	就学指導委員会において入級した児童生徒に対し、適正審査し奨励費を交付した。 平成 30 年度から町内住所者の給食費は学校給食費給付金へ移行している。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ツ〕 中学校体育大会等選手派遣費補助事業					
事業概要	◆ 中体連大会及びそれに準じる大会への選手派遣費の補助 ◆ 事業費 2,974 千円（一般財源 2,974 千円）				
実績	◆ 上北中 35 名（柔道、卓球、スキー 等） ◆ 東北中 112 名（陸上、テニス、スキー 等）				
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた大会もあったが、開催された大会においては、スポーツマンシップの涵養、スポーツ技術の向上、スポーツによる善導及び生徒相互の親睦と社会性の伸張が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔テ〕 児童・生徒・教職員学校検診委託事業					
事業概要	◆児童・生徒・教職員の健康診断のための諸検査を実施 児童生徒 耳鼻科・眼科・尿・貧血（小５・６年、中学生全員） 心電図（小１・４年、中１年）・骨密度（中２年） 学校教職員 結核検診・複合型検診（尿・心電図・血液検査等） 胃がん検診（３５歳及び４０歳以上） ◆事業費 3,346 千円（一般財源 3,346 千円） 内訳 小学校 2,154 千円 中学校 1,192 千円				
実績	◆ 受診率 児童生徒 98.3% 学校教職員 83% （１日ドック受診者は、受診者数に含まない）				
評価	医療機関、学校側の協力により、検診の円滑な実施及び高受診率が達成された。 教職員は、夏季休業中に複合型検診を実施（場所：コミセン、２日設定）欠席者は、後日青森県総合健診センターで受診した。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ト〕 学校保健会への助成事業					
事業概要	◆ 町の学校保健の充実発展を図り、あわせて地域社会の保健安全思想の普及発展に寄与することを目的とし、学校及び家庭における健康増進などに関する事業を展開するとともに、会報を発行するなどして学校保健及び学校安全などの向上を図るための事業に対して助成。 ◆ 事業費 420千円（一般財源420千円）				
実績	◆ 新入学児童への歯ブラシ贈呈（4月）、会報発行（2月）、保健主事部会（年4回）、養護教諭部会（年6回）、会報編集委員会（年2回）等 総会（5月）、学校保健会・町連P研究大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
評価	本会の目的及び事業の推進が図られた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ナ〕 スクールバス・東北地区町民バス運行業務委託事業・車両更新事業					
事業概要	◆ 児童生徒の通学の確保を図る。 東北地区5台 上北地区2台 ◆ 住民の交通の確保を図り福祉の増進と町の活性化に資するため、1日2コース運行する。 ◆ 事業費 スクールバス及び東北地区町民バス運行業務委託事業 87,397千円（県支出金80,000千円、一般財源7,397千円） ※令和3年度の車両更新はなし				
実績	◆ スクールバス利用者 上北地区125名 東北地区145名				
評価	スクールバス、町民バスはスムーズに利用者を送迎できた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔二〕 校舎等修繕事業					
事業概要	◆ 安全・安心な教育環境整備の実施、建築基準法等の法令改正に伴う施設整備の実施。 ◆ 事業費 5,030千円（一般財源5,030千円） 内訳 小学校 2,200千円 中学校 2,830千円				
実績	◆ 安全・安心な教育環境の整備のため、照明器具等の修繕を実施した。 また、保健衛生上問題のあるトイレ修繕・排水関係等、緊急性があるものについても適宜実施した。				
評価	学校教育に支障ないように配慮して実施した。また、緊急性を要するものについても効率よく実施された。教育環境維持のため、毎年実施する。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔又〕 校舎等維持管理業務委託事業					
事業概要	◆ 消防法・建築基準法等各法令による点検管理業務、安全・安心な教育環境の充実を図るため法令外の点検管理業務等の実施。 ◆ 事業費 29,150千円（一般財源29,150千円）				
実績	◆ 各法令・法令外に係る点検管理業務は学校側と協議の上、計画的かつ効率よく実施した。				
評価	学校側と協議の上、計画的に実施できた。これにより、安全・安心な教育環境の維持管理が図られた。 法令・法令外点検維持業務については、毎年実施する。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ネ〕 一般備品購入事業					
事業概要	◆ 小・中学校5校の一般管理用備品（更新）の購入 ◆ 事業費 596千円（一般財源596千円）				
実績	◆ 一般備品 小学校 271千円、中学校 325千円				
評価	各小・中学校の一般備品購入事業は概ね学校の要望どおり実施できた。 今後も教育環境の整備を図る。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

【ノ】 教育相談員配置事業					
事業概要	◆ 不登校やいじめの問題をもつ児童生徒及び保護者等の相談に応じるなど、学校教育の充実と振興を図るため、小・中学校に教育相談員を配置する。 ◆ 事業費 5,993 千円 （一般財源 5,993 千円）				
実績	◆ 小学校2名、中学校に2名の教育相談員を配置した。				
評価	平成27年度から設置開始し、不登校やいじめ、特別支援教育等の問題をもつ児童生徒の相談に応じるなど、教職員と連携協力しながら学校教育の充実と振興に努めた。 児童生徒の不安・悩みの解消を図り教育現場から高い評価を受けている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

【ハ】 台湾台北市立中学校交流事業					
事業概要	◆ 台湾台北市立天母国民中学と東北町立上北中学校及び東北町立東北中学校との姉妹校締結を受け、定期的な相互訪問を実施し、歴史や文化等異文化交流による相互理解や国際理解を深め、生徒たちのグローバルな人間形成を目指す。 ◆ 事業費 〇千円（一般財源 〇千円）				
実績	◆ 令和3年度は、台湾台北市天母国民中学が東北町に来町する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、オンラインによる交流を検討するも、日程等調整で折り合いがつかなかったため、交流中止となった。				
評価	令和4年度は、令和3年度の事業内容を引き継ぐ予定である。 今後も、当町中学生と台湾台北市天母国民中学生徒が国際交流できるよう、事業を実施したい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

【ヒ】 学校給食費給付金交付事業				
事業概要	◆ 保護者の経済的負担の軽減、教育の充実、子育て支援を目的として、児童生徒の保護者に学校給食費給付金を交付する。 ◆ 事業費 58,455 千円（繰入金 55,000 千円、一般財源 3,455 千円）			
実績	◆ 学校長や保護者からの請求をもとに、町内小中学校分は毎月、町外小中学校分は4カ月間に1回、特別支援学校分は年度末に学校給食費を支給した。 ・交付決定者数 小学校 711 人、中学校 395 人			
評価	給食費給付金の交付を実施により、保護者の経済的負担が図られた。 平成31年度からは、防衛省の調整交付金を財源とする学校給食費給付金交付事業基金から事業費を充当している。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	
	廃止・中止		見直し縮小	

【フ】 学校保健特別対策事業（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）				
事業概要	◆ 町内各校が感染リスクを最小限にしながら学校を運営し、十分な教育活動を継続できるよう、学校長の裁量による児童生徒の学びを保障するための教育環境を整備する。 ◆ 事業費 5,229 千円（国庫補助金 2,475 千円、臨時交付金 2,381 千円 一般財源 373 千円）			
実績	サーマルカメラ、図書除菌機、デジタル教科書、体温計を購入した。			
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止及び学習保障のため必要な備品等を購入することにより、児童生徒が安心して効率よく学習できる環境を整備することができた。			
事業の方向性	現状維持		改善継続	事業完了（新型コロナウイルス対策事業）
	廃止・中止	○	見直し縮小	

【ヘ】 大学生等生活支援給付金事業				
事業概要	◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、移動の自粛やアルバイト収入の減など、就学及び生活に影響を受けている全ての町出身大学生等へ1人につき10万円を給付する。 ◆ 事業費 31,500 千円（臨時交付金 31,500 千円 一般財源 0 円）			
実績	申請件数 315 件 給付件数 315 件			
評価	給付後、給付者にアンケート調査を実施した結果6割程度から回答を得ることができた。 受給者からはコロナ禍が影響し金銭的にも大変厳しい学生生活であることが窺え、本事業は大変効果的であった。			
事業の方向性	現状維持	○	改善継続	事業完了、R4 年度も事業実施予定
	廃止・中止		見直し縮小	

〔木〕 学校図書館支援員配置事業					
事業概要	◆ 学校図書館の整備・充実と児童生徒が本と出会う機会を支援し、子ども読書活動の推進を図るため、学校図書館支援員を全小中学校へ巡回させる。 ◆ 事業費 2,945 千円 （一般財源 2,945 千円）				
実績	◆ 2名の学校図書館支援員を配置した。				
評価	今年度から設置開始し、新システム導入へのアシストや、学校図書館の整備の充実、学校側の読書推進に協力することで、学校図書館を利用する児童生徒へ支援ができた。今後も図書担当教諭との連携を図りながら、学校図書館の充実をさらに進める。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔マ〕 通級指導教室指導教員配置事業					
事業概要	◆ 通級による指導を必要とする生徒の障がいの程度に応じた個別指導を行うことで、学校生活及び授業時における困難の改善・克服を図る。 ◆ 事業費 5,844 千円 （一般財源 5,844 千円）				
実績	◆ 東北中学校に 1 名の通級指導教室指導教員を配置した。				
評価	今年度から設置開始し、個々の生徒に寄り添い、困り感の解消を目指して専門的な知識を生かした丁寧な指導を行うことができた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅱ 社会教育の方針と重点

【基本方針】

生涯学習の視点から、教育・福祉・保健等各関係機関・各種団体との連携を図りながら、町民が新たな知識や技術を学び、生涯にわたって自己の向上を目指し、生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かし、つながりをつくり出す総合的な社会教育の推進に努める。

社 会 教 育 課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 社会教育の方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育の推進 (2) 学校・家庭・地域の連携による学習活動の推進 (3) 地域を支える人材の育成 (4) 社会教育推進のための基盤整備	ア 家庭教育学級	社 会 教育課
	イ 東北町民大学	
	ウ 高齢者「いきいき教室」	
	エ 花いっぱい運動	
	オ 放課後子ども教室の開設	
	カ 青少年育成町民会議活動支援・協力	
	キ 子ども会育成連絡協議会活動支援	
	ク 青年協議会活動支援	
	ケ 連合PTA活動支援	
	コ 連合婦人会活動支援	
	サ 集会施設等改修・整備事業	
	シ 集会施設等維持管理点検・修繕事業	
	ス 放課後児童クラブの開設	

〔ア〕 家庭教育学級					
事業概要	◆ 家庭教育において、心身ともに健康な子どもの育成を図るため、保護者等が家庭で果たす機能と役割の重要性を理解する学習の場として学校、保育園（所）単位で開設。 ◆ 開設場所：町内の小・中学校、保育園（所）等 1 2 保育園・3 小学校・2 中学校で開設する。 ◆ 開設期間：令和3年4月～令和4年3月 ◆ 学習時間：1 学級（1 回 2 時間程度、年 2 回を目安に継続的・計画的に学習） ◎事業費：1 0 0 千円 （一般財源 1 0 0 千円）				
実績	☆ 4 保育園・1 中学校、図書館で計 1 1 回開催。 ☆ 開催内容：陶芸教室・染物体験・思春期教室・親子レクダンス・トランクライブラリーを実施。				
評価	・学校・家庭・地域の連携を図り、自主的な保護者等の教育力の向上を期待し、継続して実施する。また、希望時には報道機関へ取材希望を取り次いでおり、実施内容の活性化を図っている。 ・図書館と連携し、学級以外での開催を行い、学級以外の人でも参加することができる場として開設を行った。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	講師謝礼の補助のみを行うのではなく、社会教育課で講師を選定して開催していく必要がある。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 東北町民大学					
事業概要	◆各界の著名な講師による講演会や映画等の開催により、町民に豊富な情報を提供することにより、町民の学習意欲の高揚を図り、生涯学習の町づくりを推進する。 また、東北町民大学運営委員会を設置し講師選定等を行う。 ◎事業費：1,276 千円 （助成金 900 千円・一般財源 376 千円）				
実績	☆ 6 月より隔週で新番組を制作し、3 月までに 16 番組を放送した。 また 2 月に芸人のマシンガンズ滝沢氏を招いてゴミ問題についての収録を行った。 ☆ 開催内容：落語、津軽手踊りと津軽三味線、浮世絵、近代木版画、SDG s 朗読上達講座、音楽鑑賞 等				
評価	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従来どおり集客しての講演会の開催はできないと運営委員会が判断した。そのため、東北町テレビを活用し集客しない形での事業展開を行った。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		コロナ禍の状況をふまえ、東北町 TV での放送を軸にしていくが、少数での公開収録などを行うことで運営委員等と協力体制を構築する。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 高齢者「いきいき教室」					
事業概要	◆年間を通して幅広い分野の学習を行い、同年代の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの促進を目的としている。また、小学校の空き教室等を利用・開設することで、児童と高齢者の世代間交流を深め、児童の情操教育及び学校生活の安全・安心に役立てている。 ◎事業費：１０９千円（一般財源 １０９千円）				
実績	☆ 上北地区：登録数２０名、東北地区：登録数 25 名。 ☆ 6 月より隔週で新番組を制作し、3 月までに 18 番組を放送した。 ☆ 開催内容：落語、津軽手踊りと津軽三味線、浮世絵、近代木版画、健康体操 朗読上達講座、音楽鑑賞、昔こと紙芝居 等				
評価	・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、東北町民大学が東北町 TV で放送するのに合わせて、番組制作、放送、視聴アンケートの回収など事業を再開した。その中でいきいき教室を通じて参加者同士が会う機会がないため、参加意欲の低下などが見受けられる。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	高齢者ということをふまえ、一堂に会しては開催しなかったが、感染症対策を徹底しての開催について検討していく。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕花いっぱい運動					
事業概要	◆町民憲章の中で、「花とみどりを育て、美しい町」を宣言しており、その実践の一環として、町内の各地域・学校・事業所等に花の苗を供給し、地域の人々が自ら花を育てることで心に安らぎをもたらし、住みよい美しい町づくりに努めることを目的とする。 ◎事業費：1,689千円（一般財源1,689千円）				
実績	☆事業費実績 事業費1,689千円（内訳：マリーゴールド黄、橙、各2万7千本、サルビア1万7千本の約7万本） ☆花苗配布日、場所、配布団体数 東北地区 6月 3日 中央公民館 30団体 上北地区 6月 4日 町民文化センター 24団体				
評価	前年度の町内会への配布中止をきっかけに、今年度より花苗の配布を希望しない町内会が多数見られた。希望団体の減少に合わせ配布本数の見直しなどを検討していく必要がある。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	各町内会。団体への募集・通知方法などの見直しが必要。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔オ〕 放課後子ども教室の開設					
事業概要	◆ 放課後や土曜日、長期休業中に町内2箇所において、小学校の余裕教室等を活用し、子ども達の安全で安心な居場所を確保しつつ、学習の定着や習慣化に取り組み、家庭・学校を支援する。 ◎ 事業費：26,359 千円 （補助金 7,361 千円、その他 516 千円、一般財源 18,482 千円）				
実績	☆ 町内小学校2校区において、4教室（甲地小 2・東北小 2）を学校施設内に開設して実施した。 ☆ 全学年を対象児童とし、346 人中 172 人（参加率 49%）参加により実施した。 ☆ 教室主事兼コーディネーター 3 人、教育活動推進員 2 人、教育活動サポーター 8 人、補助員 8 人の計 21 人を配置して実施した。				
評価	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、安全・安心な子どもの居場所づくりに貢献することができた。また、県教育委員会主催の研修等に参加し、指導員の資質向上を図った。				
事業の方向性	現状維持		改善継続		令和4年度からは放課後児童クラブへ移行するため、放課後子ども教室は廃止
	廃止・中止	○	見直し縮小		

〔力〕 青少年育成町民会議活動支援・協力					
事業概要	◆ 青少年育成町民会議の活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう、求めに応じて指導及び助言を行っている。 ◆ 「地域の子どもは、地域で守り育てる」という視点をより重視し、町民との連携のもと、行政、関係団体との協力を図り、青少年育成町民運動を展開し、次代を担う青少年の育成を目指す。年間を通して主に、下記の運動を実施。 ● 事業所及び学校訪問 ● 有害図書からの青少年を守るため「三ない運動」（置かない・貸さない・買わせない） ● 夏・冬休みにおける「帰るコール」（夏は夕方6時、冬は夕方5時に防災無線で広報） ◎ 補助金額：122 千円 （一般財源 122 千円）				
実績	☆ 青少年育成町民会議が、自主的な運営を行っている ・ 夏・冬休みの「帰るコール」				
評価	・ 新型コロナウイルスの影響により社会環境浄化一斉調査や薬物乱用・非行防止呼びかけ運動など、ほとんどの事業を行うことができなかったため、補助金交付を行わなかった。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	実績に応じ、補助金を精査する。 コロナ禍でも事業を行えるように、活動方法を見直す必要がある。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔キ〕 子ども会育成連絡協議会活動支援					
事業概要	◆子ども会育成連絡協議会の活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう、求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●初級リーダー研修会 ●親子卓球大会 ●ドッジボール大会 等 ◎補助金額：１５０千円 （一般財源 １５０千円）				
実績	☆子ども会育成連絡協議会が自主的な運営を行っている。 ☆各単位会による活動の推進 ☆定例理事会（年４回）				
評価	・小学生の社会教育活動の一端を担っている。 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、初級リーダー研修会、ドッジボール大会等が中止となり、事業実施ができなかったため補助金交付は減額変更する予定。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		実績に応じ、補助金を精査する。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ク〕 青年協議会活動支援					
事業概要	◆青年協議会の活動を支援する。 また、団体の求めに応じて、適宜指導及び助言を行っている。 ●花いっぱい運動参加 ●体力測定会開催 ◎補助金額：０千円 （一般財源 ０千円）				
実績	☆青年協議会による自主的な運営がなされている。 ・花いっぱい運動参加(赤川河川敷にある花壇への花植え) ・インドアスポーツ大会開催				
評価	・コロナ禍の状況で実施できない事業もあったが、新型コロナウイルス感染防止策を行いながら活動を展開している。青年教育活性化のため、継続して支援を行っていく。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	実績に応じ、補助金を精査する。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ケ〕 連合PTA活動支援					
事業概要	◆連合PTAの活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう、求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●県、町研究大会 ●各委員会研修会 ◎補助金額：〇千円（一般財源 〇千円）				
実績	☆定例役員会（年3回） ・総会（5月開催予定）				
評価	・新型コロナウイルス感染防止の観点から、県大会及び町研究大会が中止となり、事業実施ができなかったため補助金交付はしなかった。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔コ〕 連合婦人会活動支援					
事業概要	◆連合婦人会の活動を支援する。 また、年間を通して事業がスムーズに運ぶよう、求めに応じて指導及び助言を行っている。 ●会員研修会 ●室内運動会 ●地区活動 ●上十三地域婦人団体女性育成研修大会参加等 ◎補助金額：275千円（一般財源 275千円）				
実績	☆連合婦人会が、自主的な運営を行っている。 ・上十三地域婦人団体女性育成研修大会参加 ・ごみステーション清掃活動				
評価	・会員が高齢化してきているため、活動のアピール等による新規会員の加入促進が今後必要とされる。 ・各研修会等が中止または代表のみの参加となり、会員の交流を深める場が制限され、活動意欲の減少が懸念される。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、リーダー研修会、室内運動会、町内施設慰問等が中止となり、事業実施ができなかったため補助金を精査して清算する必要がある。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	実績に応じ、補助金を精査する。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔サ〕 集会施設等改修・整備事業					
事業概要	地域ミニ計画整備事業 地域住民の要望により修繕・改修等実施				
実績	花向町集会所集会室床修繕 351 千円（ミニ計画） その他各施設の軽微な修繕 440 千円				
評価	計画的な施設整備・改修等により、施設の長寿命化を図る。また、整備・改修等により安心・安全な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔シ〕 集会施設等維持管理点検・修繕事業					
事業概要	◆ 消防法、建築基準法等の法令による点検業務委託及び修繕を実施することにより施設を良好な状態で運営する。 ◆ 事業費 6,652 千円（一般財源）				
実績	☆ 点検業務 消防設備保守点検業務（22 施設） 防火対象物定期点検業務（19 施設） 自家用電気工作物保安管理業務（2 施設） 浄化槽維持管理業務（15 施設） 貯油槽清掃・埋設配管漏洩検査業務（1 施設） 冷暖房設備保守点検業務（3 施設） 自動ドア保守点検業務（2 施設） 煤煙量等測定業務（1 施設） 特殊建築物定期調査業務（19 施設） ☆ 修繕業務 消防用設備等修繕				
評価	・ 定期的な点検業務・設備修繕の実施により安全・安心な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ス〕 放課後児童クラブの開設					
事業概要	◆ 放課後や土曜日、長期休業中に町内 1 箇所において公共施設を利用し、日中家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、遊びを主とする健全育成活動を行う。 ◎ 事業費：32,922 千円 （補助金 12,262 千円、その他 729 千円、一般財源 19,931 千円）				
実績	☆ 町内小学校 1 校区において、4 教室（上北小 4）を上小ふれあい館に開設して実施した。 ☆ 全学年を対象児童とし、363 人中 247 人（参加率 68％）参加により実施した。 ☆ 主事 4 人、指導員 2 人、補助員 16 人の計 22 人を配置して実施した。				
評価	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、安全・安心な子どもの居場所づくりに貢献することができた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		令和 4 年度からは東北小学区放課後子ども教室、甲地小学区放課後子ども教室を放課後児童クラブへ移行
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅲ芸術・文化の方針と重点

【基本方針】

豊かな情操を育て、文化のかおる、うるおいのある
地域づくりのため、芸術・文化に接する機会を提供
するとともに、活動の推進に努める。

社 会 教 育 課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 芸術・文化の方針と重点		
重 点 項 目	事 業 名	所管課
(1) 芸術・文化活動の推進	ア 生き活き産業文化まつり	社 会 教育課
	イ 文化賞表彰	
	ウ 文化協会活動支援・協力	
	エ 東北町文化展	

〔ア〕 生き活き産業文化まつり					
事業概要	◆ 目的 町民が日頃の趣味・技術を生かした作品を展示し、観賞の機会を持つことによって、町民の文化意識を高めるとともに東北町の文化振興・発展を図ることを目的とする。 ◆ 事業内容 ・広報とうほく、町内回覧で一般作品の募集をするとともに文化協会や学校、職域、公民館クラブ等、各関係者間で協力し合い発表の場を展開している。 ◎事業費（文化まつり部門）：〇千円 （一般財源〇千円）				
実績	☆新型コロナウイルス感染拡大防止のため産業文化まつり開催中止				
評価					
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 文化賞表彰					
事業概要	◆ 町の文化の普及・振興に尽力のあった個人・団体及び特に顕著な成績を挙げた方々に対し、文化賞を授与する。 ◆ 表彰・賞状と記念品を授与。 ☆ 推薦期限 令和３年１２月２０日 ◎事業費：９２千円 （一般財源 ９２千円）				
実績	☆令和３年度 【文化功労賞】４名 【文化奨励賞】７名 ☆授与式 日時 令和４年２月２４日（木） 場 所 東北町役場本庁舎大会議室				
評価	・町の文化の普及・振興に尽力のあった個人や団体及び特に顕著な成績を挙げた方々を表彰するものであり、町民を称える事業として重要である。 ・新型コロナウイルス感染防止のため式典の一部を省略し開催。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 文化協会活動支援・協力					
事業概要	◆ 「東北町における芸術文化相互の交流と振興を図ることを目的とする」文化協会の活動を支援。また年間を通して活動、事業がスムーズに運ぶよう指導及び助言を行っている。加入団体数34団体。 ◆ ミニ展示、生き生き産業文化まつり参加、会員研修会開催、芸能発表会主催開催等。 ◎ 補助金額：0千円 （一般財源 0千円）				
実績	☆事業概要に掲載している事業は、自主的な運営がなされており、東北町文化展に12団体が参加した。				
評価	・ 東北町文化展や町の行事と関わる部分が多く、文化面での町への貢献度は大きい。会員の高齢化が進んでいるが、町として文化協会活動を支援していくことは重要不可欠である。 ・ 東北町文化展への作品出品など感染症対策を行いながら活動を展開しているが、活動が制限され、実施できない事業が多くあったため、補助金の交付を行わなかった。 ・ コロナ禍により芸能発表会の開催を中止した。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	実績に応じ、補助金を精査する。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 東北町文化展					
事業概要	◆ 目的 文化団体の発表機会と町民の芸術鑑賞機会の充実を図ることによって、東北町の文化振興・発展を図ることを目的とする。 ◆ 事業内容 文化協会や公民館講座より作品を募集するとともに、文化協会等と協力し、作品の発表・鑑賞の場を展開している。 ◎ 事業費：0千円 （一般財源0千円）				
実績	☆ 期 間 令和3年11月13日（土）～11月14日（日） ☆ 会 場 町民文化センター ☆ 出品内容 文化協会展、公民館講座展 ☆ 作品出品数 文化協会 174点 公民館講座 106点				
評価	・ 文化協会からは12団体、公民館講座からは6団体が出品した。 ・ 文化協会等の協力を得ながら、今後も文化振興・発展を図っていく。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	今後も、文化団体の発表機会と、町民の芸術鑑賞機会の充実のために文化展開催を検討する。
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅳ資料館等の施設活動方針と重点

【基本方針】

町民が、自ら郷土の歴史・伝統・文化に触れる学習活動の拠点として、かけがえの無い財産である文化財の活用を通じ、世代を超えて受け継がれ、次代の文化創造・発展の基礎となるべき文化財の保存に努めていく。一人一人が、多様性を尊重し、豊かな心を育みながら郷土愛を持って地域につながる場として、文化財の保護・保存・活用を推進する。

社 会 教 育 課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 資料館等の施設活動方針と重点		
重 点 項 目		事 業 名
(1) 歴史民俗資料館活動の充 実	ア	常設展・特別展
	イ	郷土芸能保存会活動支援
	ウ	遺跡発掘調査事業
		社 会 教育課

〔ア〕 常設展・特別展					
事業概要	◆目的 常設展・特別展により、町の貴重な資料などを紹介することで歴史・文化財への関心を喚起する。 ◆①「歴史民俗資料館」・「日本中央の碑保存館」常設展示 ◆② 特別企画展 ◆③ 特別展「旧小正月の伝統行事と風習展」 ◎特別展事業費：４５千円 （一般財源４５千円）				
	実績 ☆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別企画展及び「旧小正月の伝統行事と風習展」の開催を中止				
評価	・コロナ禍により、特別展等を開催することができなかった。 ・今年度は「旧小正月の伝統行事と風習展」が中止となったが、準備していた繭玉や五穀等について飾りつけのみ行った。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 郷土芸能保存会活動支援					
事業概要	◆郷土芸能保存会（上北地区５団体・東北地区９団体）の、郷土芸能の保存と後継者の育成を支援する。 ・「郷土芸能発表会」を開催。 ◎補助金額：１，０００千円 （一般財源 １，０００千円）				
	実績 ☆郷土芸能保存会の活動。 ・各団体、地域の行事参加。 ・町の祭等、行事への参加はコロナ禍中により見送りとなった ・コロナ禍により郷土芸能発表会を中止				
評価	・コロナ禍により町の行事への参加や郷土芸能発表会の開催を行うことができなかった。 ・後継者と成り得る人材が地元に残りにくい状況下であり、その環境整備も必要である。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 遺跡発掘調査事業					
事業概要	◆開発に伴う包蔵地の確認・回答とその他埋蔵文化財の事前調査。 ◎事業費：〇千円 （一般財源〇千円）				
実績	・今年度は、緊急発掘対応はなし。				
評価	・緊急事前調査対応及び本発掘調査等に備えた体制づくりが必要である。 ・今後の埋蔵文化財の収蔵展示の対策が必要である。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	発掘事業等確定後の予算対応とし、当初予算はない。
	廃止・中止		見直し縮小		

V 公民館等の施設活動方針と重点

【基本方針】

町民の生涯学習の活動拠点である公民館等の施設活用など、学習活動の充実に努め、町民一人一人が、心豊かで創造性に富み自己の啓発と向上の研鑽の場として、生きがいのある充実した生活を送る活動の施設とする。

社会教育課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 公民館等の施設活動方針と重点			
重 点 項 目		事 業 名	所 管 課
	(１) 公民館運営体制の充実	ア 各種趣味講座の開設	社 会 教育課
	(２) 生涯学習活動支援の 充実	イ 移動（利用）公民館講座の開設	
		ウ 成人式	
	(３) グループ、サークル 等の育成	エ 実年式	
		オ 集会施設等の改修事業・補助金	
		カ 公民館等維持管理点検・修繕事業	

〔ア〕 各種趣味講座の開設					
事業概要	◆ 生涯教育の中にあって、上北地区１０種目、東北地区１２種目と多岐にわたる趣味講座や教室を開設し、学習の場を提供するとともに、多くの町民相互の交流の場を創出し生きがいのある生活を見出すことを目的に実施。 ◎事業費 ５６９千円（一般財源 569 千円）				
実績	☆令和３年４月～令和４年３月まで、中央公民館、上北地区公民館、町民文化センター、陶芸館等において、２２講座を実施。開設延日数 106 日、参加延人数約 ９３７人。 ☆歩くつどい及び探訪ウォークについては新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催を中止した。				
評価	・それぞれの講座は、その特色を生かし、参加者の学習意欲を高める場として利用されている。 ・講座開催は、新型コロナウイルスの感染防止対策に留意し、講師や参加者にはマスク着用、検温、消毒や換気を徹底するようお願いした。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 移動（利用）公民館講座の開設					
事業概要	◆ 地域住民の学習要望に応じ、地域の集会施設に講師等を派遣し、教室や講座を開設して、学習意欲の高揚を図ることを目的に実施。また他に利用公民館講座と称し、中央公民館を利用し、趣味講座・サークルのない種別の講座を町内全域対象に開催し、新しい発見や体験をすることで、多くの町民の交流を図る場を創出することを目的に開設する。 ◎事業費 ４５千円（一般財源 45 千円）				
実績	☆移動公民館講座４回開催、参加人数４３人 ☆利用公民館講座１回開催、参加人数１０人				
評価	・中央公民館で趣味講座として実施している講座と違い、地域や対象を別にしながら、種目も分館料理教室・婦人学級フラワーアレンジメント教室、マスコット作りなど、幅広い年代層が参加・活用している。 ・令和３年度も、地域住民の学習ニーズを反映した講座を開設するよう指導していきたい。				
事業の 方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 成人式					
事業概要	◆ 成人式は、新たに大人社会の一員となる新成人が、これまで育んでくれた人々や社会に感謝し、成人となることの社会的責任を自覚して、大人としての行動をとっていきっかけの場として、また、未来に向かってたくましく生きていこうとする新成人を、祝い励ます場として実施している。 ◎事業費 成人式 996 千円（臨時交付金 119 千円 一般財源 877 千円）				
実績	☆1月9日開催（令和元年度までは8月15日に開催） ・平成30年度 196人中139人参加（70.9%） ・令和元年度 161人中111人参加（68.9%） ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大により中止 ・令和3年度 206人中 48人参加（23.3%）※前年度対象者 197人中 96人参加（48.7%）※本年度対象者				
評価	・令和2年度新成人と令和3年度新成人を対象とした2部制で開催。 ・参加者にワクチン接種又は抗原定量検査を義務付け、懇親会の省略等式典の規模を縮小するなどの感染対策を行い開催。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	令和4年度も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、式典の開催方法を検討していく。 また、成人年齢引き下げに伴う、名称変更や開催方法などを検討していく。
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 実年式					
事業概要	◆ 60歳を迎える方を対象に、社会貢献に対する労いと今後の社会参加や地域づくりのための情報交換の場として開催している。実行委員会を設置、事業内容や運営、企画について決定している。また、式典については町が行い、祝賀会については実行委員会で行なっている。 ◎事業費 0千円（一般財源0千円）				
実績	☆令和3年度の開催を中止。				
評価	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県内の感染状況などを鑑み、現状では実行委員会を開催することができず、今年度の開催については中止。 ・令和4年度も、コロナ下での開催について、祝賀会は飲食を伴うことから検討する必要がある。				
事業の方向性	現状維持		改善継続		
	廃止・中止	○	見直し縮小		

〔才〕 集会施設等の改修事業・補助金					
事業概要	◆ 東北地区の集会所等の改修を計画的に実施する。 ◎事業費 9,648 千円 （元気補助金 4,165 千円、一般財源 5,483 千円）				
実績	☆徳万館集会所捻取工事補助金			補助金	392 千円
	☆保戸沢集会所改修事業補助金			補助金	435 千円
	☆長久保集会所改修事業補助金			補助金	2,573 千円
	☆蛭沢地区学習等供用センター改修工事設計業務委託			委託料	319 千円
	☆蛭沢地区学習等供用センター改修工事			工事費	5,929 千円
評価	・計画的な施設整備・改修等により、施設の長寿命化を図る。また、整備・改修等により安心・安全な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔カ〕 公民館等維持管理点検・修繕事業					
事業概要	◆ 消防法、建築基準法等の法令による点検業務委託及び修繕を実施することにより施設を良好な状態で運営する。 ◎事業費 6,901 千円（一般財源）				
実績	☆点検業務 消防用設備保安点検業務（14施設） 防火対象物定期点検業務（9施設） 自家用電気工作物の保安監督業務（2施設） 浄化槽維持管理業務（8施設） 貯油槽埋設物配管等漏洩検査業務（1施設） ボイラー等煤煙測定業務（1施設） 暖房設備保守点検検査業務（2施設） 自動ドア保守点検業務（1施設） 防火設備定期点検業務（1施設） 遊具点検業務（13施設） 庭園維持管理業務 赤川河川敷花壇監理委託事業 特殊建築物定期調査業務委託				
評価	・定期的な点検業務・設備修繕の実施により安全・安心な施設利用が図られている。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

Ⅵ図書館の活動方針と重点

【基本方針】

図書館は生涯学習の拠点施設であることから、
学習支援サービス機関として、図書、記録、そ
の他必要な資料の情報を、閲覧、貸出し、レフ
ァレンス等により提供し、地域住民のニーズに
応えるよう、図書館の利用促進を図る。

社会教育課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 図書館の活動方針と重点		
重 点 項 目		事 業 名
	(1) 図書館の運営とサービスの充実	ア 図書館利用の促進活動
	(2) 子ども読書活動の推進	イ 情報ネットワークサービスの実施
	(3) 学習情報の提供と学校図書館への支援	ウ 子どもの読書活動推進
	(4) 読書団体組織への支援による活動の充実	エ 学校図書館への支援活動
		社 会 教育課

〔ア〕 図書館利用の促進活動					
事業概要	◆ 図書館（本館・分室）の運営とサービスの提供。 ・図書館資料収集の充実、資料活用（展示等）を図る。 ・リクエストやレファレンスに対する迅速な対応を図り、利用者へのサービスの充実を図る。 ・ホームページ、広報とうほくへの新着案内及び各イベントのお知らせ掲載により、利用者の増加の促進を図る。 ・職員の研修会等への参加により、資質の向上を図る。 ◆ 郷土関係資料及び行政資料・寄贈資料等の整備と提供、資料室や閉架書架の整備、書架の確保と適切な配架、郷土資料等のデータ整備を進める。 ◆ 広報や町 HP の電子回覧板を用いて図書館だよりやおすすめ本を紹介した。 ◎事業費 7,945 千円（一般財源 7,945 千円）				
実績	☆各賞受賞本や年中行事等の時期にあわせ、一般書、児童書等の展示を実施した。 ☆リクエストには、当館としての所蔵の必要性を考慮しながら購入等の対応を実施した。 ☆新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をハード（機材）とソフト（掲示・資料の提供）の両面で行った。				
評価	・事業や行事が中止・縮小されたが、想定されるケースを考えながら進めた。 ・資料室、閉架書架等の整備、書架の確保と適切な配架を行うことにより、利用者が利用しやすい環境を心掛け、今後も収集に取り組む。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔イ〕 情報ネットワークサービスの実施					
事業概要	◆ 県立図書館による支援事業の積極的な活用。 ◆ 他市町村図書館とのネットワーク確立による、相互貸借等の充実を図る。 ◆ ◎事業費 1, 056 千円（一般財源 1, 056 千円）				
実績	☆県立図書一括貸出や協力用図書セット（大型絵本）等、図書パッケージを利用し、当館に不足する分野（分類）の充実を図った。 ☆県立図書館主催の事業や上図連の研修に参加することにより、図書館運営の参考になった。 ☆県内市町村館とのネットワーク（アプリンズ）活用。				
評価	・県立一括貸出が浸透し、利用者の需要に応えられる図書館として今後も相互貸借等のサービスを継続していく。 ・当館所蔵のない資料への対応を、県内市町村館ネットワークや北日本図書館連盟相互貸借を利用し、図書を提供することに努めた。 ・県立図書館のシステムがリニューアルされるので、図書館支援員への新システムへの操作指導や相互貸借への加入準備を進める。				
事業の 方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔ウ〕 子どもの読書活動推進					
事業概要	◆ 子どもの読書活動の推進を図る。 ・ブックスタート事業の実施により本との出会いや読書がしやすい環境整備を促進する。 ・ボランティア団体等の連携により保育園（所）、小学校での定期的な読み聞かせを実施し、多様な図書に親しむ機会を提供する。 ・図書館でのイベント（にちようトランクらいぶらりー）を開催し、子どもの自主的な読書活動につなげる。 ◎事業費 91 千円（一般財源 91 千円）				
実績	☆ブックスタート事業は、コロナ禍ではあったが保健衛生課の協力のもと、6 か月児健康相談時において乳児とその保護者へ絵本を手渡すことができた。 ☆読み聞かせやおはなし会は新型コロナウィルスの拡大防止の観点から希望する団体への提供となり、開催数は減少した。 ☆「読み聞かせまんぷく」「まんぷく読書」は開催期間や締切を工夫して開催した。 ☆第四次東北町子ども読書活動推進計画を策定した（令和4年3月）。				
評価	・感染症対策や町の SNS を利用した新たな読書活動推進方法を進める。 ・第四次東北町子ども読書活動推進計画にある目標値に近づくための具体的な取り組み。 ・本年度より社会教育指導員を配置し、乳幼児期から本に親しむ機会の提供（家庭での読書環境整備や習慣づけへのねらい）に標準をつけ、継続して取り組む。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

〔エ〕 学校図書館への支援活動					
事業概要	◆ 学校図書館の環境整備や資料装備等の支援。 ◎事業費 50 千円（一般財源 50 千円）				
実績	☆学務課へ学校図書館支援員の事務を移管し、指導や物品提供等活動支援を行った。 ☆巡回図書（全小学校へ2 か月ごとに1 回 100 冊程度）の実施（子ども教室にも実施）。 ☆県立図書館からの図書セット希望の学校に対し、窓口となった。				
評価	・学校側の読書推進に協力し、随時改善努力していくことによって、利用する児童生徒へ支援ができた。 ・小学校と子ども教室への巡回図書の定着により、多様な図書の提供ができた。 ・各校の整備の充実（システム導入）、学校図書館支援員の巡回により、児童生徒の利用や保護者の読書への理解が浸透してきた。学校図書館活動がより充実してきた。 ・統合後の新設・改築校図書館への支援、図書担当教諭との連携を図りながら学校図書館の充実・支援をさらに進める。				
事業の方向性	現状維持		改善継続		事業継続のまま学務課へ移行
	廃止・中止		見直し縮小	○	支援継続（巡回図書や情報提供、研修参加）

VII 社会体育の方針と重点

【基本方針】

すべての町民が、生涯にわたって気軽にスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送れるよう、また、スポーツの盛んな町として地域特性を生かした明るく豊かなまちづくりが進められるよう、スポーツ施設の整備充実、各種スポーツ団体の活動を支援しながら、だれもが気軽に楽しめるスポーツの普及や競技スポーツの振興に努める。

スポーツ振興課

施策別主要事業一覧表

〔施策分野〕 社会体育の方針と重点			
重 点 項 目		事 業 名	所 管 課
	(１) 地域に根ざしたスポーツの振興	ア、スポーツ振興事業の実施	スポーツ振興課
	(２) スポーツ環境の整備充実	イ、各種大会派遣事業	
	(３) 職員の能力向上とスポーツ推進委員の活用	ウ、研修会等への派遣事業	
		エ、体育施設有効利用と促進事業	
		オ、各種体育団体への助成事業	

(ア) スポーツ振興事業の実施

1. 町民総合体育大会					
事業概要	◆小学生から一般まで広く町民にスポーツに参加する場を提供し、健康と体力の向上を図り、地域の連携と町民相互の連帯を高めることを目的に秋（野球、ソフトボール、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレー）・冬（バスケットボール、卓球、ホクリン、バレーボール、ミニサッカー）2回開催している事業 ◆事業費 〇 千円（一般財源 〇 千円）				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

2. 東北町長旗争奪中学校野球・ソフトボール大会					
事業概要	◆町内中学生の相互の連帯意識を高めるとともに、近隣市町村中学校の野球及びソフトボールの技術向上と普及発展を図りながら、非行防止と健全育成を目的とする事業				
	◆事業費 167 千円（一般財源 167 千円）				
実績	◆期 日 令和3年5月8日(土)～5月9日(日)				
	◆場 所 南総合運動公園野球場・ソフトボール場、北総合運動公園野球場				
	◆参加市町村 東北町、七戸町、十和田市、三沢市、六戸町、おいらせ町				
	◆参 加 者 軟式野球 9 チーム 138 人				
	ソフトボール 4 チーム 49 人 計 187 人				
	◆成 績 軟式野球 優 勝 東北中学校				
	準優勝 上北中学校				
	ソフトボール 優 勝 上北中学校・六戸中学校合同				
	準優勝 七百中学校				
評価	◆中体連前の大会で、各参加チームの力を試せる大会であり、技術の向上と相互の交流を図りスポーツ振興に努めている。 ◆軟式野球、ソフトボール競技とも部員数の減少によりチーム編成ができなくなっている状況であるため、今後継続していくためには参加チームを確保するために、努力が必要となってくる。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

3. 町民グラウンド・ゴルフ大会

事業概要	◆グラウンド・ゴルフ競技をととして、町民が集い、余暇を活用し楽しみながら健康づくりに対する意識を向上させ健康を維持・増進を図る事業 ◆事業費 62 千円（一般財源 62 千円）					
実績	◆期 日 令和3年5月16日(日) ◆場 所 北総合運動公園グラウンド・ゴルフ公認コース ◆参 加 者 49 名 ◆成 績 Aブロック 男子優勝 中野 晶 女子優勝 鎌本 ミヤ Bブロック 男子優勝 中村 宏 女子優勝 蛸名 リセ					
評価	◆町内のグラウンド・ゴルフ愛好者が余暇を活用し、楽しみながら交流を深め健康維持・増進が図られているため継続して実施する。 ◆参加者が減少傾向にあるため、広く周知を行い幅広い年代の参加者を確保する必要がある。					
事業の方向性	現状維持		改善継続	○		
	廃止・中止		見直し縮小			

4. 東北町高齢者ゲートボール大会

事業概要	◆東北町に在住する高齢者が一堂に集い、余暇の活用を楽しみながら健康づくりの意識を高め相互の親睦を深めるとともに、健康の維持・増進を図る事業 ◆事業費 58 千円（一般財源 58 千円）			
実績	◆期 日 令和3年5月12日(水) ◆場 所 北総合運動公園すぱーく東北 ◆参加者 27 名 ◆成績 優勝 乙供 準優勝 甲地モンキーズ			
評価	◆高齢者の健康増進に適している事業である。今後とも継続するが、ゲートボールの競技人口が減少する一方なので、競技人口の拡大を図りながら高齢者の健康づくりの意識向上に努める。			
事業の方向性	現状維持		改善継続	○
	廃止・中止		見直し縮小	

5. 東北町長旗争奪親善グラウンド・ゴルフ大会					
事業概要	◆県内のグラウンド・ゴルフ愛好者集う公認グラウンド・ゴルフコースを使う大会、相互の親睦と交流の輪を広げることで、競技の普及・振興を図る。 ◆事業費 ○ 千円（一般財源 ○ 千円）				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

6. 女性レクリエーション大会					
事業概要	◆冬季間の女性の運動不足の解消と余暇を利用した健康づくりの意識の向上を図り、地域のリーダー作りも目指している事業 ◆事業費 ○ 千円（一般財源 ○ 千円）				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

7 青森県小学生駅伝競走大会					
事業概要	◆小学生から駅伝に参加することで、駅伝に親しむとともに、駅伝の普及と振興を図り、「たすきで継なぐ」連帯と団結心を養い、青少年の健全育成を図る事業。 ◆事業費 ○ 千円（町補助金 ○ 千円・参加料等 ○ 千円）				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

8. わかさぎマラソン大会					
事業概要	◆町内外のマラソン愛好者を集い交流を図り、わが町の観光及び施設を広く紹介し町の活性化を図るとともに、マラソンを通じて、町民の健康増進の意識向上を図る事業。 ◆事業費 〇 千円 (町補助金 〇 千円・参加料 〇 千円・協賛金等 〇 千円)				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

9. ヨット・カヌー・水泳等海洋性スポーツ教室					
事業概要	◆B & G海洋クラブの会員増を図ることと、海洋性スポーツの楽しさを普及することにより、興味を抱かせ、広く海洋性スポーツの振興を図る事業。 ◆事業費 70 千円（一般財源 70 千円）				
実績	◆期 日 令和3年7月26日～8月30日 ◆場 所 浜台艇庫・北総合運動公園プール ◆参加者 ヨット・カヌー教室 延 67 人 水泳教室（4日間） 延 15 人				
評価	◆ヨット・カヌー教室は、育成士会の協力の下、教室参加者の安全を確保して普及に努めることができた。また、昨年度よりも参加人数が増となり、3回実施することができた。 ◆水泳教室は、1～6年生の泳ぎが苦手な子ども達を対象に実施。水泳指導員協力の下、水に慣れることを中心に指導していただき、最終的には多少の泳力を身に付けて教室を終えることができた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

10. B&G杯争奪ソフトバレーボール大会

事業概要	◆冬季間の運動不足の解消とソフトバレーボールの普及を目的とした事業				
	◆事業費 〇 千円（一般財源 〇 千円）				
実績	◆中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	◆新型コロナウイルス感染予防対策等を行い事業継続を目指す。
	廃止・中止		見直し縮小		

11. 体育・スポーツ賞

事業概要	◆東北町民及び東北町に所在する団体で、スポーツ活動において町民の健康増進、技術の向上並びに普及に努め、東北町のスポーツ振興に貢献した人に授与する。また、各種大会において優秀な成績を収め、広く町民の模範となるべき人に授与する。					
	◆事業費 280 千円（一般財源 280 千円）					
実績	◆期 日 令和4年2月24日(木) 17時30分から ◆場 所 東北町役場本庁舎 ◆受賞者 功 労 賞 2 名 スポーツ賞 2 名 優秀選手賞 個人 33 名 団体 1 団体 7 名 合計 44 名					
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一堂に会しての表彰授与式を中止し、功労賞のみ本庁舎にて表彰伝達式を行った。教育奨励賞の式典は中止となった。					
事業の方向性	現状維持	○	改善継続			
	廃止・中止		見直し縮小			

(イ) 各種大会派遣事業

1. 上北郡総合スポーツ大会					
事業概要	◆上北郡各町村持ち回りで行う総合スポーツ大会(町村対抗)の参加に派遣費として助成することで、スポーツ競技の競技力向上を目指す。 ◆事業費 〇 千円(町補助金 〇 千円・参加負担金等 〇 千円)				
実績	◆大会中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会中止。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		次年度開催地 野辺地町
	廃止・中止		見直し縮小		

2. 市町村対抗青森県民体育大会					
事業概要	◆青森県の市及び町村別で行われる総合体育大会の参加に派遣費を助成することでスポーツ競技の競技力向上を目指す。 ◆事業費 〇 千円(町補助金 〇 千円・参加負担金等 〇 千円)				
実績	◆大会中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会中止。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		次年度開催地 上北地域
	廃止・中止		見直し縮小		

3. 北奥羽総合体育大会					
事業概要	◆上北郡の代表として青森県南・岩手県北等北奥羽圏の郡市で行われる総合体育大会の参加に派遣費を助成することでスポーツ競技の競技力の向上を目指す。 ◆事業費 〇 千円(町補助金 〇 千円・参加負担金等 〇 千円)				
実績	◆大会中止				
評価	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会中止。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		次年度開催地 久慈市
	廃止・中止		見直し縮小		

4. 青森県民駅伝競走大会					
事業概要	◆青森県全市町村が参加する市町村対抗の駅伝競走大会の参加に強化費等を助成。 ◆事業費 30 千円 (町補助金 30 千円・県補助金 0 千円・雑収入等 0 千円)				
実績	◆大会中止				
評価	◆新型コロナウィルス感染拡大防止のため、大会中止となったが、小学生対象のミニ駅伝教室を行い次世代の駅伝選手の育成・強化を図った。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

5. B & Gスポーツ大会青森県大会					
事業概要	◆B & G地域海洋センターを有する市町村で開催する大会で、海洋性レクリエーションを通し各センタークラブ相互の連帯と親睦を図る。 ◆事業費 90 千円（一般財源 90 千円）				
実績	◆期 日 令和3年7月27日（火） ◆場 所 水上の部：鶴田町 水泳の部：各海洋センター ◆参加者 水上の部：5人 水泳の部：46人 ◆成 績 【水上の部】カヌー競技 中学生男子2位 岩清水 奏太 中学生男子50m平泳ぎ3位 岩清水 奏太 中学生男子3位 沼田 龍 高校生女子50mバタフライ1位 白山 由菜 中学生女子3位 土橋 愛瑠 小学生女子200mフリーリレー 2位 【水泳の部】総合 2位 小学生男子200mフリーリレー 3位 中学生女子100m自由形3位 久保 蒼井 中学生男子200mフリーリレー 2位 高校生女子100m自由形1位 白山 由菜 小学生女子200mメドレーリレー 2位 高校生男子100m自由形2位 蛭沢 心遥 中学生男子200mメドレーリレー 2位 小学生女子50m背泳ぎ3位 苔米地 穂乃華 中学生男子50m背泳ぎ3位 蛭沢 理史 高校生男子50m背泳ぎ1位 蛭沢 心遥				
評価	◆今年度も、水上競技のみ鶴田町で開催し水泳競技は各センターで記録会を行った。両競技にて入賞者を多数出すことができた。今後も町内の学校へ呼びかけて参加者を募りたい。また、大会を通じて、他の海洋センター員と交流が図られたので、継続して大会へ参加したい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		次年度開催地 東北町・六戸町
	廃止・中止		見直し縮小		

6. スポーツ振興助成金等					
事業概要	◆町内に住所を有して、スポーツ活動を行っている個人又は団体に対しスポーツ振興を図るため、必要な資金を援助することを目的とした事業（育成・派遣・強化） ◆事業費 377 千円（一般財源 377 千円）				
実績	スポーツ振興助成金 ◆東日本小学生錬成ソフトテニス大会(宮城県 仙台市) 期日 7月10日～7月11日 出場 東北町ソフトテニススポーツ少年団 ◆全農杯 2021年全国卓球選手権大会(兵庫県 神戸市) 期日 7月22日～7月25日 出場 上北スポーツ少年団 ◆KENKO CUP 全国ジュニアソフトテニス大会(埼玉県 熊谷市) 期日 12月24日～12月26日 出場 東北町ソフトテニススポーツ少年団 ◆ルーセントカップ 東北中学校ソフトテニスインドア大会(山形県 酒田市) 期日 1月8日～1月9日 出場 東北中学校ソフトテニス部 ◆天皇杯・皇后杯 全日本卓球選手権大会(東京都 渋谷区) 期日 1月23日～1月25日 出場 上北スポーツ少年団				
評価	◆全国・東北大会等に出場する派遣費を助成することでスポーツ振興を図れた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

7 地域スポーツ振興助成金					
事業概要	◆地域におけるコミュニティの形成を促進し、住民の健康増進並びに体力増強に寄与することを目的に、スポーツ・レクリエーション等の活動に助成する。 ◆事業費 105 千円（一般財源 105 千円）				
実績	◆4分館実施 乙供、美須々、夫雑原、千曳				
評価	◆住民の自主的なスポーツ・レクリエーション等の活動を呼びかけたところ、4つの分館が実施した。今後も分館及び町内会の実施増加を目指し、地区代表者から各地域への伝達を含め、町広報も活用しながら周知活動に努めたい。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

(ウ) 研修会等への派遣事業

事業概要	◆職員・スポーツ推進委員等の諸研修会及びリーダー・指導員の育成派遣事業 ◆事業費 51 千円（一般財源 51 千円）				
実績	◆上北地区研修会派遣・・・・・・・・・・ 4 名 ◆上十三地区研修会派遣・・・・・・・・・・ 中止 ◆上十三地区スポーツフェスティバル派遣・・・・・・ 中止 ◆青森県スポーツ推進委員研修会・・・・・・・・・・ 3 名 ◆東北地区スポーツ推進委員研修会・・・・・・・・・・ 中止				
評価	◆研修会に派遣することにより、職員、スポーツ推進委員等の育成及び資質の向上に努めることができた。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

(エ) 体育施設有効利用と促進事業

事業概要	◆町民に、当町の体育施設を積極的に活用してもらうため、施設の維持補修及びスポーツの振興並びに健康の維持・増進を図る。 ◆事業費 ふれあいドーム上北エアコン改修工事 (一般財源 3,168 千円) 南総合運動公園多目的運動場法面改修工事 (一般財源 2,178 千円) トレーニングセンター玄関ポーチガラス交換工事 (一般財源 1,300 千円) トレーニングセンター誘導灯改修工事 (一般財源 1,188 千円)				
実績	◆ふれあいドーム上北エアコン改修工事については、トレーニング室へ冷暖房エアコンを設置し、スポーツ環境の向上を図った。 ◆南総合運動公園多目的運動場法面改修工事については、崩落箇所の法面を補修し、利用者の安全性を図った。 ◆トレーニングセンター玄関ポーチガラス交換工事については、雪害により破損したガラスを交換し、利用者の安全性を図った。 ◆トレーニングセンター誘導灯改修工事については、老朽化した誘導灯をLED型誘導灯へ交換し、利用者の安全性を図った。				
評価	◆年間を通して、施設の利用促進を図ることにより、町民の健康の維持・促進を図るとともにスポーツ振興の向上に努めてる。また、既存のスポーツ施設・設備等の改修を計画的に行っており、安全性の向上と利用しやすい環境づくりに努めている。しかしながら、各施設の付帯備品などを含め老朽化による改善費用、公園全体の維持管理費などがかさみ続けており、その対応が今後の課題となっている。				
事業の方向性	現状維持		改善継続	○	
	廃止・中止		見直し縮小		

(才) 各種体育団体への助成事業

事業概要	◆各種体育団体の育成及び強化に対して助成することによりスポーツの振興を図る。 ◆事業費 3,334 千円（一般財源 3,334 千円）				
実績	◆東北町スポーツ協会・・・・・・・・・・補助金 3,200 千円 ◆東北町海洋センター育成士会・・・・・・補助金 100 千円 ◆上北郡スポーツ協会・・・・・・・・・・負担金 0 千円 ◆上十三地区スポーツ推進委員連絡協議会・・・負担金 8 千円 ◆青森県地域海洋センター協議会・・・・・・負担金 26 千円				
評価	◆各団体の資質の向上とスポーツ振興を図ることに努める。				
事業の方向性	現状維持	○	改善継続		
	廃止・中止		見直し縮小		

